

歓声あげて『子供まつり』

奈良市の登美ヶ丘 カトリッククラブ 豪州領事ら招き

子供たちに、楽しい遊びの一日を——と、奈良市中登美ヶ丘の登美ヶ丘カトリック幼稚園の在、卒業児の父親たちでつくる「登美ヶ丘カトリッククラブ」(森健彦会長、百五十人)が二十五日、同幼稚園で「子供まつり」を開いた。園児や卒業児はもとより、近隣の子供たちも集まって約千人が、もちつき大会やフォークダンス、ジャンケン大会などを楽しみ、晴れあがった空に終日子供たちの歓声が響いた。

同クラブは、社会奉仕をモットーに、特に子供たちの健やかな成長を願って毎年、春の子供まつりのほか、七月には夏まつり、十二月にはクリスマスパーティーなどを開いているが、今年の子供まつ

りには「奈良日食協会」(近東弘七会長)が昨秋発足し、同幼稚園に事務局が開設されたのを記念して、ジェームス・ショート・オーストラリア総領事夫妻と娘さん、留学生ら計十人も招かれ、日食観望にもひと役買った。

日食観望の国産機撮のあと、もちつき。ジェームス総領事も初めてきねをふるって汗かくた。

フォークダンスでは、軽やかなメロディに乗っておとなも子供もグラウンド狭しと踊り回り、ジャンケン大会では優勝者にオーストラリアの美しい切手を贈られた。また、なご焼き、綿菓子など

の模擬店も出て、子供たちは、お父さんたちが腕をふるった食べものに舌つみを行っていた。



ジャンケン大会を楽しむ子供たち
(登美ヶ丘カトリック幼稚園で)